年間授業計画　新様式例

松が谷　高等学校 令和４年度（１学年用）　教科　　芸術　　科目　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（　1～8組：藤井）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 教育出版　書道Ⅰ　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く	書の良さや美しさを感受し、意図に基づき構想し	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわた

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	書の美を求めて書の世界へようこそ 【知識及び技能】 ・筆のはたらきについて理解し、正しい姿勢と執筆法で書く事を心がける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆のはたらきと関連づけながら苦手な楷書の基本点画を練習し完璧に書けるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】・	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・正しい姿勢、執筆法、用筆法、運筆法 ・筆のはたらきから考える楷書の基本点画 ・書道用具の扱い方、準備と後始末の仕方		○			・筆のはたらきについて理解したか ・筆のはたらきを意識しながら基本点画を書く事が出来るようになっているか ・用筆、運筆の際、筆のはたらきを意識して正しく楷書の基本点画が書けるように工夫しているか ・筆のはたらきを生かした基本点画の書き方の練習に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う事ができたか ◎以上の内容を、毎回の提出作品、学習過程、用	○	○	○	8
	漢字の書の学習 ・漢字には五つの書体がある事を知り、五書体それぞれの特徴を理解して区別できるようにする。 ・書体の変遷や拓本と碑について理解し、芸術科書道では古典の鑑賞や臨書を中心に学習を進める事を確認する。 ・臨書の種類を知り、その意義を確認する。 ・	・五書体の特徴と見分け方 ・五書体の歴史的変遷 ・石碑と拓本 ・臨書の種類とその意義 ・形臨をする時の手本の見方		○		○	・漢字の五書体とその歴史的変遷を理解したか ・石碑と拓本について理解したか ・石碑と拓本について知る事で、中国の文字と書の伝統、文化について理解できたか ・形臨の時の手本の見方を理解できたか ・手本の見方のポイントを押さえながら形臨する事ができたか ・いろいろな臨書について理解した上で孔子廟堂の形臨に主体的に取り組み書に対する感性を豊かに	○	○	○	6
	漢字の書の学習①楷書の学習 ・さまざまな楷書古典を鑑賞し、その良さや美しさ、書風を直感的に捉え、作品の価値や根拠について考える。 ・漢字の楷書の古典に基づく学習により、書の多様な表現の可能性に触れる。 ・代表的な唐代の楷書古典を鑑賞し、それぞれの古典の作者や時代背景について知り、楷書の最も美しい形が完成したのが唐時代である事を理解する。 ・各古典を字形の特徴と用筆・運筆との関わりから捉え、臨書活動を通して、意図に基づいて表現するための基礎的な技能を身につける。 ※隷書の学習(発展学習として扱う) ・漢字の書(楷書)の創作をし鑑賞し合う。	・唐代の楷書 ・九成宮醴泉銘と孔子廟堂碑 雁塔聖教序と顔氏家廟碑 ・北魏の楷書 牛橛造像記と鄭羲下碑 ※隷書の学習 曹全碑 ・楷書創作作品制作		○		○	・楷書が、漢字の書体の変遷の中で、歴史的にどの位置付けにあるのかを確実に理解したか ・代表的な唐代の楷書古典の作者や時代背景について理解できたか ・それぞれの楷書古典の書風と用筆運筆との関わりを理解できたか ・楷書古典に基づく基本的な用筆、運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける事ができたか ・楷書古典の書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する事ができたか ・楷書古典や臨書した作品の価値とその根拠についで考え、書の良さや美しさを味わって捉える事ができたか ・楷書古典の特質に基づく幅広い表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う事ができたか ◎以上の内容を、毎回の提出作品、学習過程、用具用材の扱い方、主体的に学習に取り組む態度も含めて総	○	○	○	10
2学期	漢字仮名交じりの書の学習 ・用具用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆、運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解する。 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の	・言葉を表現する ・ ・感動や思いを表現する ・ ・作品の表現意図を考える ・名筆に学ぶ表現の工夫 ・用具用材の工夫 ・全体構成の工夫 ・作品鑑賞会	○			○	・用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できたか ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解できたか ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける事ができたか ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づ	○	○	○	10
	漢字の書の学習②行書の学習 ・さまざまな行書古典を鑑賞し、書風を直観的に捉えたうえで、行書の特徴について理解する。 ・行書の古典に基づく基本的な用筆運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける ・行書の古典の書風に即した用筆運筆、字形、全体の構成について構想し工夫す	・さまざまな行書 ・行書の特徴 ・ 王羲之と顔真卿の行書 ・蘭亭序 ・祭姪稿 日本の行書 ・風信帖 ・三筆と三跡の書		○		○	・行書の特徴について理解したか ・行書の古典に基づく基本的な用筆運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける事ができたか ・行書の古典の書風に即した用筆運筆、字形、全体の構成について構想し工夫したか ・行書の古典の良さや美しさを感受し、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に関する感性を豊かにし書を愛好する心情を養えたか	○	○	○	20
3学期	仮名の書の学習 ・ ・線質や書風と用筆運筆との関わりについて理解する ・用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解する ・日本の文字と書の伝統と文化について理解する ・仮名の成立について理解する ・書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する ・古典に基づく基本的な用筆運筆の技能を身につける ・連綿と単体、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける ・意図に基づく表現について構想し工夫する	・仮名の成立と発達 ・ ・仮名の種類 ・姿勢と執筆方法 ・用具用材とその扱い方 ・基本的な筆づかい ・平仮名 ・変体仮名 ・連綿 ・古典の鑑賞と臨書(蓬莱切、高野切第三種) ・ 仮名の書の制作			○	○	・線質や書風と用筆運筆との関わりについて理解できたか ・用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できたか ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解できたか ・日本の文字と書の伝統と文化について理解できたか ・仮名の成立について理解できたか ・書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できたか ・古典に基づく基本的な用筆運筆の技能を身につける事ができたか ・連綿と単体、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける事ができたか ・意図に基づく表現について構想し工夫する事ができたか ◎以上の内容を、毎回の提出作品、学習過程、用具用材の扱い方、主体的に学習に取り組む態度も	○	○	○	16
											合計 70